

試 験 報 告 書

依 頼 者 不二薬工株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 フヂの次亜塩素酸水

表 題 殺菌効果試験

2021 年 01 月 14 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

不二薬工株式会社

2 検体

フヂの次亜塩素酸水

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	1分後	5分後	15分後
大腸菌	検 体	—	<10	<10	<10
	対 照	6.2×10^5	—	—	7.8×10^5
サルモネラ	検 体	—	<10	<10	<10
	対 照	7.2×10^5	—	—	7.5×10^5
黄色 ブドウ球菌	検 体	—	<10	<10	<10
	対 照	6.7×10^5	—	—	5.7×10^5

<10: 検出せず

保存温度: 室温

対照: 精製水(黄色ブドウ球菌は生理食塩水)

表-2 試験条件

	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> NBRC 3313 (サルモネラ) ③ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌)
試験菌液	試験菌①及び②	前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C±1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL
	試験菌③	前培養：普通寒天培地, 35 °C±1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	1分, 5分, 15分(室温)	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈	
対照	試験菌①及び②：精製水 試験菌③：生理食塩水	
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	35 °C±1 °C, 2日間

以 上

試験報告書

依頼者 不二薬工株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 本報告書中

表題 殺菌効果試験

2021 年 01 月 14 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

不二薬工株式会社

2 検体

- 1) アクロファインDL
- 2) SC活性剤液

3 試験概要

検体及び検体を用いて調製した試料液に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	1分後	5分後	15分後
大腸菌	検体1)	—	1.7×10^4	9.3×10^3	2.3×10^3
	試料液[検体1)+2)]*	—	<10	<10	<10
	対 照	6.2×10^5	—	—	7.8×10^5
サルモネラ	検体1)	—	3.0×10^4	1.5×10^4	3.9×10^3
	試料液[検体1)+2)]*	—	<10	<10	<10
	対 照	7.2×10^5	—	—	7.5×10^5
黄色 ブドウ球菌	検体1)	—	<10	<10	<10
	試料液[検体1)+2)]*	—	<10	<10	<10
	対 照	6.7×10^5	—	—	5.7×10^5

<10 : 検出せず

保存温度 : 室温

対照 : 精製水 (黄色ブドウ球菌は生理食塩水)

* 検体2) 3 mLに対して検体1) 1 mLの割合で加えたもの

表-2 試験条件

	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> NBRC 3313 (サルモネラ) ③ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌)
試験菌液	試験菌①及び②	前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C±1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL
	試験菌③	前培養：普通寒天培地, 35 °C±1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL
試料液 [検体1)+2)]	検体2)3 mLに対して検体1)1 mLの割合で加えたもの	
試験液	検体1)又は試料液10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	1分, 5分, 15分(室温)	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈	
対照	試験菌①及び②：精製水 試験菌③：生理食塩水	
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	35 °C±1 °C, 2日間

以 上